

●爪切りに関するメモ

- * 爪切り(貞丈雑記八下)……爪切りとは、爪をとる小刀なり。つまは爪つめという事なり。二本一對の物なり。刃の長さ三寸五分ばかりなり。柄つか・鞘きやあり。唐木、または漆塗り、蒔絵等も有るべし。寸法等定めもなし。二本のうち一本は常の如く右刃に付ける。是、右の爪を取るなり。一本は左刃に付ける。是、左の爪を取るなり。
- * 爪を剪りて棄つることを忌む(江戸時代庶民文庫38巻210頁)……『太平広記』に、鶇きゆうりゆう鷯ゆうという鳥について記す。この鳥は、昼は隠れていて、夜になると飛び回って人の爪を食らう。この鳥が家の上で鳴くと凶事があるため、爪を切るときは戸内に埋めて戸外には棄てない。日本で俗に夜に爪を切るのを忌むのもこれに基づくものであろう。
- * 爪を切る(江戸時代庶民文庫44巻282頁)……人前で爪を切ったり、髭を抜いたり、また、他人の小刀で爪を切ったり、借りて使った後で小刀をぬぐわず返すなどはやってはならない。
-
- * 爪紅を付ける(近世礼法書集成12巻48頁)……中国の習慣による。鳳仙花とカタバミ草の葉をもみ合わせて爪に塗ると美しい色になる。鳳仙花の和名を「爪つま紅くれなゐ」と言う。
- * 爪打刀・爪打鎚(近世礼法書集成4巻68頁)……爪打刀の寸法は、9寸3分、広さ3寸1分。爪打鎚の寸法は、頭の大きさ9寸3分、長さ2寸1分、柄の長さ9寸8分。
- * 爪粧つまい(近世礼法書集成13巻313頁)……(女性礼法)爪粧つまいの事は。色を深くさすべきではない。余りに甚だしいのは目立つて賤しいものである。口の粧つまいも同様。
- * 人前での爪切り(近世礼法書集成14巻363頁)……(女性礼法)人前で爪を取ったり、髪を撫でつけたり、帯を直したりしてはならない。人前で鼻をかむときは、下座の方に向いてかむ。